

IAEAの幹部が日本を訪れ、東京電力福島第一原子力発電所に保管されたALPS処理水の安全性に関するレビューの本格実施に向けた協議を行いました

2021年9月9日

▶エネルギー・環境

9月6日～9日に、国際原子力機関(IAEA)の原子力安全・核セキュリティ局の幹部が日本を訪れ、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の関連設備を視察するとともに、処理水の安全性に関するレビューの本格実施に向けた協議がなされました。

9月6日から9月9日にかけて、国際原子力機関(IAEA)で原子力安全・核セキュリティ局のトップを務められるリディ・エヴラールIAEA事務次長(Ms. Lydie Evrard, Deputy Director General and Head of the Department of Nuclear Safety and Security of the International Atomic Energy Agency)が日本を訪れました。

今回の訪日は、東京電力福島第一原子力発電所に保管されたALPS処理水の安全性に関するレビューの実施に関して、8月19日に梶山経済産業大臣とグロッシーIAEA事務局長との会談で合意されたこと等が実現に至ったものです。

エヴラール事務次長との会合及び東京電力福島第一原子力発電所の視察の概要は、以下のとおりです。

(1) 経済産業省等の関係省庁との協議

今年7月8日にIAEAと日本政府との間で署名された、IAEAと日本政府との間でALPS処理水の取扱いに係る包括的な協力の枠組みに関する付託事項(TOR)を踏まえ、9月7日及び9日に、経済産業省をはじめとする関係省庁と今後のスケジュールやレビュー項目について議論がなされました。12月を目途にIAEAの評価派遣団が訪日し、①放出される水の性状、②放出プロセスの安全性、③人と環境の保護に関する放射線影響について、IAEAの安全基準に照らした評価を行うことで合意しました。

(2) 東京電力福島第一原子力発電所の視察

9月8日、エヴラール事務次長は、東京電力福島第一原子力発電所を訪問し、レビューの対象となる多核種除去設備(ALPS)、処理水を貯蔵するタンク群、処理水の処分に係る設備の設置が検討されている港湾部等の現場を視察し、東京電力等と技術的な意見交換を行いました。

(3) 江島経済産業副大臣との会談

9月9日、エヴラール事務次長と江島経済産業副大臣との会談が行われました。本会談では、江島副大臣から、専門的な国際機関であるIAEAにおいて、ALPS処理水の安全性について、繰り返しレビューが行われることの重要性を伝え、エヴラール事務次長からは透明性高く客観的なレビューを行っていくという考えが示されました。



担当

資源エネルギー庁
原子力発電所事故収束対応室長 福田
担当者: 田辺、安良岡

電話: 03-3501-1511(内線 4441)
03-3580-3051(直通)
03-3580-0879(FAX)